

都立墨田川高等学校 令和5年度 公民科 現代社会 年間授業計画

教科：公民 科目：現代社会 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～G組

使用教科書：（『現代社会』東京書籍）

使用教材：（『ライブ！2023 公共、現代社会を考える』帝国書院）

	指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	地球環境問題 資源・エネルギー問題 科学技術の発達と生命倫理の問題 高度情報社会	・よりよい社会を形成していくために、現代社会における諸課題をとらえ、考察するための考え方の枠組みを身に付ける。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	6
5月 ～ 6月	青年期の意義と課題 哲学と人間、宗教と人間 近代科学の考え方、人間の尊厳 日本の伝統思想と外来思想の受容	・社会と関わりあう中でアイデンティティを確立し、よりよく生きることを追求する大切さを自覚する。 ・先哲の思想を基に、人間の存在や価値について多面的に考察し、今日的な課題について探究する姿勢を身に付ける。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 定期考査の得点 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	9
6月 ～ 7月	日本国憲法の基本原理 選挙制度 経済社会の変容、現代の企業 市場経済・金融のしくみ	・民主政治の基本的な考え方、日本国憲法の基本原理について理解し、選挙制度のしくみについて理解するとともに、政治参加の重要性を踏まえて主権者としての在り方生き方を考察する。 ・経済発展、産業構造の変化、市場経済や中央銀行のしくみと役割について理解し、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 定期考査の得点 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	12
8月 ～ 9月	中央銀行・政府の役割と財政 戦後復興と高度経済成長 産業構造の転換と経済環境の変化 環境保全と循環型社会	・健全な経済発展を図り、持続可能な社会を築くことが、地球規模の環境保全にとって必要であることを理解する。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	10
10月	国際社会の特質、国際紛争、国際連合、軍縮への取組 貿易と国際分業、外国為替 戦後国際経済の変化 対立と協調、グローバル化	・国際社会において国際間の秩序を作り出す国際法の意義と役割について理解する。 ・経済活動が世界的な規模で自由に行われること相互依存関係が深まっていることを理解する。 ・国際社会の諸課題について考察し、国際社会における日本の役割について考える。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 定期考査の得点 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	7
11月	世界経済、国際的な格差是正 地球規模の課題、日本の役割 持続可能な社会の形成 平和主義と安全保障 政党政治、地方自治	・国際社会が直面する様々な課題を解決するためには、国家及び国際的な機構や組織、NGO、企業などが互いに連携しながら協力していくことが大切であることを理解し、国際平和、国際協調について考える。 ・平和主義や日本の政治機構などについて理解し現代の政治の諸課題について考察する。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	9
12月	日本の役割 持続可能な社会の形成 大学入試問題への対策 論述問題対策、小論文対策	・現代の政治の諸課題について考察し、政治参加の重要性を踏まえて、主権者としての在り方生き方を考察する。 ・自身の進路に適した問題演習に取り組む。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 定期考査の得点 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	6
1月 ～ 3月	大学入試問題への対策 論述問題対策、小論文対策	・自身の進路に適した問題演習に取り組む。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 演習問題への取り組み状況	19

都立墨田川高等学校 令和5年度 教科 公民 科目政治・経済 年間授業計画

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：3単位

対象学年組：第3学年E組・F組選択者)

使用教科書：(「政治・経済」東京書籍)

使用教材：(「最新政治・経済資料集2023」第一学習社 「ベストセレクション」実教出版)

	指導内容	政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	民主政治のあゆみ 法の支配 社会契約説 権力分立 諸国の政治制度 明治憲法の特徴 日本国憲法の制定 最高法規性	民主政治の基本的な考え方、日本国憲法の基本原理について理解し、選挙制度のしくみについて理解するとともに、政治参加の重要性を踏まえて主権者としての在り方生き方を考察する。	[評価の観点] 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 [方法] 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	10h
5月	基本的人権の保障 法の下での平等 外国人の権利 自由権の基本権 社会権 参政権 請求権 新しい人権 国民の義務 平和主義	基本的人権を通して社会の形成者としての自覚する。日本国憲法の基本原理について理解し、選挙制度のしくみについて理解するとともに、政治参加の重要性を踏まえて主権者としての在り方生き方を考察する。	[評価の観点] 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 [方法] 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	13h
6月	三権分立と国会の地位 国会の権限・運営・課題 内閣と国会 内閣の機能・課題 裁判所と司法 司法権の独立 判の種類 違憲法令審査権 司法の課題と国民参加	裁 日本三権分立を基本とした政治のしくみについて理解する。現代の諸課題として民主政治のあり方について理解・思考する。日本国憲法の基本原理について理解し、選挙制度のしくみについて理解するとともに、政治参加の重要性を踏まえて主権者としての在り方生き方を考察する。	[評価の観点] 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 [方法] 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	13h
7月	国際連合の役割と課題 戦後国際政治の展開と日本の役割 国際政治の課題 域紛争 日本の外交の課題・領土問題 地球環境問題	地 国際連合の役割や課題について理解する。戦後の政治体制について各国の基本的な立場や考え方、日本の領土について理解するとともに、政治参加の重要性を踏まえて主権者としての在り方生き方を考察する。	[評価の観点] 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 [方法] 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	13h
9月	資本主義経済の成立・変容 社会主義経済 経済活動の主体 企業の活動 株式会社 現代の企業	株 資本主義経済と社会主義経済が成立する経緯を踏まえて、経済発展してきたことを考察する。産業構造の変化、市場経済や中央銀行のしくみと役割について理解し、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。	[評価の観点] 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 [方法] 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	13h
10月	市場のメカニズム 市場の失敗 寡占・独占市場 国民所得 フローとストック 経済動向と景気変動 貨幣制度 金融市場・機関 銀行の役割	市場経済や市場の失敗、中央銀行のしくみと役割について理解し、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。	[評価の観点] 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 [方法] 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	13h
11月	金融政策 金融の自由化と金融再生 金融をめぐる環境の変化 財政制度 財政の役割 財政の課題・財政改革 日本の経済復興と民主化 高度経済成長期 オイルショック後の日本経済 産業構造の転換 バブル経済とその崩壊 日本経済の現状・課題	市場経済における政府の役割を振り返り、財政について仕組みと役割、課題を考察する。中央銀行のしくみと役割について理解し、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。第二次世界大戦後の日本経済の現状と課題を考察する。	[評価の観点] 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 [方法] 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	13h

	指導内容	政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月	公害から環境問題へ 消費者問題 農業政策の変遷 日本農業の現在・課題 中小企業 日本の労働問題 社会保障制度のしくみ貿易と国際収支 国際経済体制の展開 発展途上国の経済 地域主義の動き グローバル化する世界経済	国際社会において国際間の秩序を作り出す国際法の意義と役割について理解する。 経済活動が世界的な規模で自由に行われること相互依存関係が深まっていることを理解する。 国際社会の諸課題について考察し、国際社会における日本の役割について考える。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	13h
1月 5 3月	個別指導	政治、経済、国際問題の基礎を学習し、大学受験に対応できる力を育成するとともに、有為な社会の形成者としての資質を伸ばしてゆく。また、大学での学問研究の根本となる社会科学系の知識や学説などを身につけさせ、問題解決能力を高めてゆく。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 授業中の課題(ワークシート)、授業中の発表	16h

都立墨田川高等学校 令和5年度 公民科 3年必選 倫理 年間授業計画

教科：公民 科目：必選 倫理 単位数：2単位

対象学年組：（第3学年A組～G組）

使用教科書：（『高校倫理 新訂版』実教出版）

使用教材：（『最新図説 倫理』浜島書店）

	指導内容	現代社会演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月～5月	現代に生きる自己の課題 青年期の課題と自己形成 青年期とは・適応と個性 現代青年の特色と課題 人生における哲学 古代ギリシャの思想 (自然哲学、ソフィスト、ソクラテス、 プラトン、アリストテレス)	・青年期の意義とその課題について関心を高めさせる。 ・現代の倫理的課題について理解を深め、自らの人生観、世界観、価値観の形成に活かす知識を身に付けさせる。 ・ギリシャの先哲の思想や中国思想を基に、人間の存在や価値、人間関係や社会生活について多面的・多角的に考えさせる。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 授業中の課題(ワークシート)、単元テスト、問題演習 定期考査	10
5月～6月	人生における宗教、人生の知恵 キリスト教、イスラーム、仏教、中国思想 現代社会と倫理 ルネサンス、宗教改革、モラリスト	・宗教思想への理解を深め、今日的な課題について探究する姿勢を身に付けさせる。 ・先哲の人間についての考えへの理解を深め、人間の存在や生命の深遠さについて考えさせる。 ・先哲の思想を手掛かりに現代の科学技術の根底にある基本的な見方考え方への理解を深めさせる。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 授業中の課題(ワークシート)、単元テスト、問題演習 定期考査	12
7月～9月	現代社会と倫理 近代科学の誕生、経験論、合理論 社会契約説、ドイツ観念論、功利主義 社会主義、実存主義、ヒューマニズム	・科学技術が人間に及ぼした諸問題について主体的に考えられるよう、倫理的な見方や考え方を身に付けさせる。 ・先哲の考え方を複数取り上げることで、よりよく生きることや生きがいについて考えさせる。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 授業中の課題(ワークシート)、単元テスト、問題演習	16
10月	国際社会に生きる日本人の自覚 日本の風土と伝統、仏教の伝来 儒教の日本化、国学 近世庶民の思想 西洋近代思想の受容 近代的自我の成立 近代日本哲学の成立	・日本人の心情やもの見方・考え方と風土との深い関わりをとらえ、これらが、その後の日本思想の底流となっていることを理解させる。 ・日本の仏教、儒教について、どのように受け入れ、展開していったのかを理解し、日本人の思想形成に及ぼした影響について考えさせる。 ・近代日本の哲学を理解し、現代社会を生きる際の自己形成の一つの視点としてこれを生かし、国際社会を主体的に生きる姿勢を養う。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 授業中の課題(ワークシート)、単元テスト、問題演習 定期考査	8
11月	現代における理性の問題 現代の諸課題と倫理 生命倫理、環境倫理、現代の家族 地域社会、情報社会、異文化理解 人類の平和と福祉	・様々な倫理的課題について、他者との関わりで生きるという視点を忘れずに考え、人間としての在り方生き方についての自覚を深めさせる。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 授業中の課題(ワークシート)、単元テスト、問題演習	8
12月	大学入試問題への対策 論述問題対策、小論文対策	自身の進路に適した問題演習に取り組みさせる。 大学入試に対応できる実践力を身に付けさせる。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 授業中の課題(ワークシート)、単元テスト、問題演習 定期考査	6
1月～3月	大学入試問題への対策 論述問題対策、小論文対策	自身の進路に適した問題演習に取り組みさせる。 大学入試に対応できる実践力を身に付けさせる。	〔評価の観点〕 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 〔方法〕 問題演習	18